

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各位
輸血責任医師 各位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

骨髄バッグ シールド方法（無菌接合器の使用）について（通知）

平素より骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、標記について骨髄採取マニュアルを変更することとなりました。つきましては下記ご対応くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 変更の経緯
無菌接合器を保有する移植施設が増え、緊急時に無菌接合器を使用する可能性があるため、本委員会で審議の結果、マニュアルを改訂することとなった。
2. マニュアル 変更箇所
骨髄採取マニュアル 採取担当医師の見地から（P11）

（13）バッグのシールド方法

1) 一番外側にヒートシーリングを行い、それより内側を1~2カ所結び目やクランプで留めること（図2）。

※移植施設において無菌接合器を使用する場合は、事前に採取施設に伝えること。
また、予定外に無菌接合器を使用する可能性もあるため、バッグから6cm以上離れた部分で留めることが望ましい。

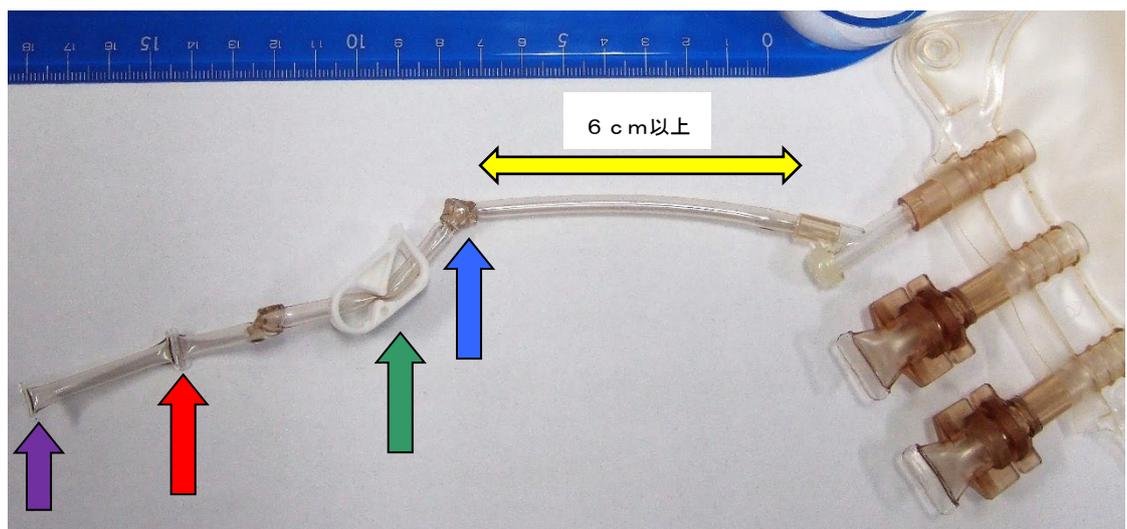


図2：正しいシールドの一例 バッグから6cm以上離れた場所に、結び（青矢印）、クランプ（緑矢印）、結び、ヒートシール（赤矢印）、断端処理（紫矢印）が置かれている。

以上

骨髓採取マニュアル(2022/12/15) 新旧対照表

採取担当医師の見地から (13) バッグのシールド方法 (P11)

旧	改訂後
リーク事故のあったシールド方法 (【 <u>図 1</u> 】) と、別施設でのシールド方法の一例 (【 <u>図 2</u> 】) を挙げる。	リーク事故のあったシールド方法 (<u>図 1</u>) と、別施設での <u>正しい</u> シールド方法の一例 (<u>図 2</u>) を挙げる。
<u>図 2 は、シールドの一例で、結び(青矢印)、ストッパー(緑矢印)の末に、シールド(赤矢印)が置かれている。</u>	【写真変更】 <u>図 2 : 正しいシールドの一例</u> <u>バッグから 6 cm以上離れた場所</u> に、結び(青矢印)、クランプ(緑矢印)、結び、ヒートシール(赤矢印)、断端処理(紫矢印)が置かれている。
※移植施設において無菌接合器を使用する場合は、事前に採取施設に伝えること。	※移植施設において無菌接合器を使用する場合は、事前に採取施設に伝えること。 <u>また、予定外に無菌接合器を使用する可能性もあるため、バッグから 6 cm以上離れた部分で留めることが望ましい。</u> (追加)